

「治山(ちさん)の森」PR活動についての報告

平成29年5月19日「道民の森月形地区」で治山の森等を活用した治山事業のPR資料設置
○「月形地区」資料館への治山事業関連資料掲示

資料館内の展示場



展示用資料「治山事業について」



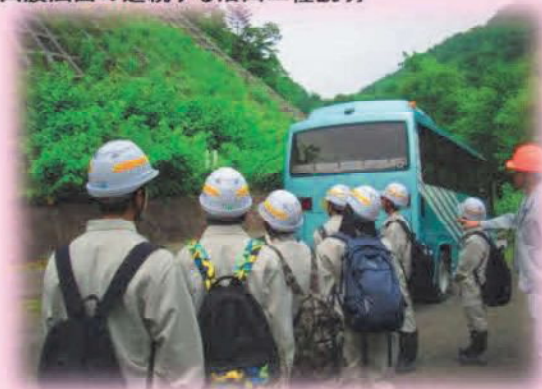
「治山(ちさん)の森」普及啓発活動

平成29年6月21日「道民の森神威尻地区」で岩見沢農業高等学校生徒9名を対象に実施
○「神居尻地区」における学生対象研修

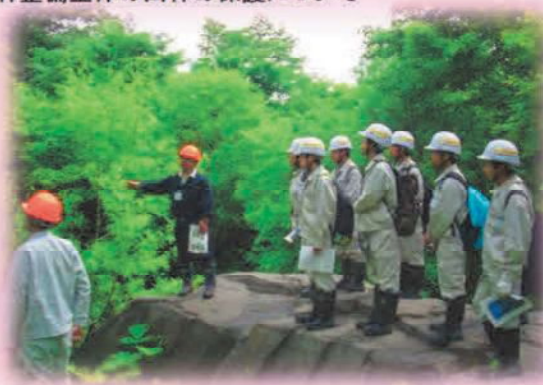
・案内看板による山地防災の重要性の説明



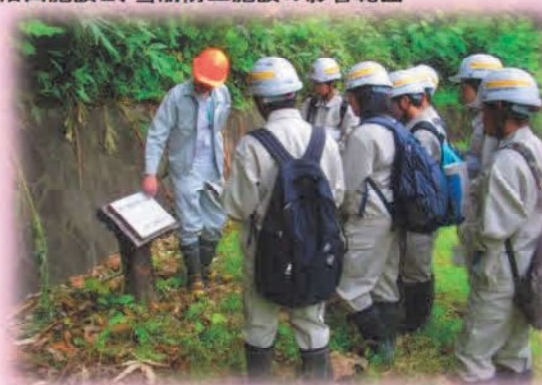
・山腹法面の連続する治山工種説明



・森林整備主体の山林の保護について



・治山施設と、雪崩防止施設の影響範囲



「治山(ちさん)の森」とは？

札幌市の北東約70kmに位置する当別町青山奥にある「治山の森」(面積約3.2^{ha})は、北海道が実施する民有林治山事業が1948(昭和23)年度に開始され、1997(平成9)年度で50周年を迎えたこと、また、1897(明治30)年度に発足した保(ほ)安(あん)林(りん)制度が100周年を迎えたことから、その記念事業の一環として、治山事業の重要性や施設等の働きなどについてご理解いただくために、1996(平成8)年度から1999(平成11)年度にかけて、道民の森神居尻地区区内において北海道が整備しました。

平成28年の活動内容について

平成28年6月7日 道民の森神居尻地区の「治山の森」において北海道岩見沢農業高等学校の学生40名を対象に研修が実施されました。その一環として「治山の森」PR資料の配付を行い、治山事業、治山の森についての説明を行いました。

○「治山の森」内の施設について散策しながら説明



流木等を捕捉する
治山ダム(スリットダム)

「治山(ちさん)の森」とは？

札幌市の北東約70kmに位置する当別町青山奥にある「治山の森」(面積約3.2[㌖])は、北海道が実施する民有林治山事業が1948(昭和23)年度に開始され、1997(平成9)年度で50周年を迎えたこと、また、1897(明治30)年度に発足した保(ほ)安(あん)林(りん)制度が100周年を迎えたことから、その記念事業の一環として、治山事業の重要性や施設等の働きなどについてご理解いただくために、1996(平成8)年度から1999(平成11)年度にかけて、道民の森神居尻地区内において北海道が整備しました。

平成28年8月4日に当別町の道民の森 一番川地区 において、キャンプ場に訪れていた方々を対象に、空知総合振興局森林室の職員が治山事業や「治山の森」についてのPR活動を行いました。

